

マチュピチュ、塩湖の鏡に感動 夫婦で行った退職記念旅行

中部支部事務所長 児玉一郎



昨年の2月、私は、妻とともに、ペルー、ボリビアへの海外旅行ツアーに参加しました。定年退職をして今の仕事に就いたのが2か月後の4月だから、これは在職中の退職記念旅行記です。

主な観光先は、マチュピチュ、チチカカ湖、ウユニ塩湖、ナスカの地上絵などです。ペルー国民の印象は、まじめで素朴な感じで、今まで私が持っていた南米の人に対するイメージとはやや違っていました。日本よりも物価は安く、スーパ

運よくウユニ塩湖の「天空の鏡」をカメラに収めることができました



ーやコンビニもあり、日常不足するものはありません。ただ治安は悪そうで市街を見渡すと、必ず1階が鉄格子の状態になっていて夜間侵入されないようにしていることが伺えました。ほとんどの家が建設途中のように鉄筋などが飛び出していて不思議に思いましたが、建設中の家は税金が安いという理由だそうです。食べ物は、少々癖のあるものもありましたが、食べ

られない物はありませんでした。ペルーのリマへは、羽田空港からカナダのトロント経由で20時間かけて到着しました。旅行中に不便を感じたのは、トイレです。ホテルのトイレは問題ありませんが、観光地のトイレ事情は良くありません。ほとんどが有料で、しかも不潔感がこの上ありませんでした。



幻の空中都市マチュピチュへは、ペルー高原列車でふもとの村へ行き、そこからシャトルバスで向かいます。小雨でしたが、霧はなく全体を見渡すことが出来ました。標高は2460m、まだ低い方です。世界で最も高い所(標高3890m)にある湖、チチカカ湖にはトトラと呼ばれる葦で作られた浮島が何個もあり、そこで先住民が生活しています。学校や病院、観

光客用の宿泊施設までありました。船で一つの島に上陸しましたが、足元が葦だけにふわふわした感じ。

ペルーからボリビアへは国境までバスで行き、ペルー側で出国手続きを済ませた後、歩いて国境をわたり、ボリビア側で入国手続きをして、別のバスでボリビア

の事実上の首都ラパス(首都はスクレ)へ。天空の鏡、ウユニ塩湖へはラパスから飛行機で。空港からは4WD車です。ウユニへ行くなら雨季(11~4月)がいいと思います。水たまりができ、文字通り鏡になります(絶対ではなく運です)。幸い鏡張りをみる事が出来ました。標高は3700m。

高山病にもならず、無事旅行を終えようとしたところで、とんだハプニングが。

リマとトロントで1泊づつ、2日間足止めを食い、旅行日程が2日間延びたのです。理由は飛行機の故障と機長の体調不良。あれから1年半、いい思い出です。